

花まつり

吉井 仁叟寺で甘茶供養

イエス・キリストの誕生日は、信者じゃない人までお祝いしてしまうのに、釈迦の誕生日を知る人は少ない。四月八日は降誕会(こうたんえ)といって、お釈迦さまが生まれた日。県内の各寺院で甘茶供養が行われ、ここ吉井町の仁叟(じんそう)寺(渡辺隆司住職)でも、子供たちが甘茶供養に参加した。

甘茶供養は、釈迦の誕生を祝って竜王が清らかな甘露の水をかけた、ゾウが



誕生仏に甘茶をかけ子供たちは何を願ったのか

お湯をかけたという故事に由来している。この日、同寺に集まった子供たちは釈迦の誕生仏に甘茶をかけ、それぞれに願いごとを祈念。「お釈迦さまが生まれたときおっしゃった『天上天下唯我独尊』

は、私だけが偉いんだという意味ではなく、この世にただ一人しかない自分を大切にしようとの教え」と話す渡辺啓司副住職の法話にも、静かに耳を傾けていた。

花まつり

吉井 仁叟寺で甘茶供養